

## 平成 29 年 8 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

8 月の業種別景況の前月比 DI 値は 14 業種の内、好転が 1 業種、悪化が 6 業種、昨年同等が 7 業種となり、全体の景況感は若干悪化している。

サービス業では売上が増加傾向であったが、他の業種からは盆を境に売上が減少したことや、同業種の中でも受注量に差がでている等の報告が多くあった。

山口県の中小企業は、先行きを不安視しており、また、人材確保のため努力を重ねているが、改善策が見つからないでいる。

### 山口県の主要指標 DI 値（平成 29 年 8 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転： 2.5% 悪化：32.5% DI 値：▲30.0% ポイント

売上高 ( < 増加 > - < 減少 > = < DI 値 > )

前年同月比は、増加： 10.0% 減少：38.8% DI 値：▲28.8% ポイント

収益状況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転： 6.3% 悪化：31.3% DI 値：▲25.0% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 29 年 8 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	▲50.0	▲33.3	▲50.0	▲66.7	0.0	▲50.0	▲36.4
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
▲20.0	▲44.4	▲75.0	▲9.1	▲10.0	▲14.3	▲100.0	▲25.5
							

全 体
▲30.0


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	山の日により10日から繁忙となったが、お盆期間中は前年並み。お盆以降の売上減少が目立つ。大賞受賞の菓子工房も閉店する時代。新規に菓子店舗を構える苦労は計り知れないものがある。	パン・菓子製造業
	売上は8/27時点で対前年同月比2%程度のプラスである。お盆期間（8/10～17）は+6%程度と大幅に売上のアップと順調な業績であった。8月は猛暑日が続く、館内空調はエアコン・GHP（ガスヒートポンプエアコン）の2系統を連日フル稼働し、電力使用量（7/17～8/16の月間で10万KW超え）とガス使用量が大幅に増え収益を圧迫している。	水産食料品製造業 萩市
	商品の動きが悪い。今後の世の流れが読みづらい。	水産食料品製造業 下関市
	気温が高く天気が続き雨が降らないため、野菜などの農作物の生育に影響が出ている。地球温暖化に伴いゲリラ豪雨など過去の知見が全くいかせない状況となり、企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。突然の自然災害へ対応できるような、国民への連絡体制などの仕組みづくりが必要になってきている。また、地球温暖化をこれ以上進めないためにも、二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要。	精穀・製粉業
繊維工業	8/17中国人実習生6名が入国。現在、実習生は63名（中国人24名とベトナム人39名）である。	下着類製造業
	店頭の商品の動きが悪い模様。生産ロットがより小さくなってきている。	外衣・シャツ製造業 山口市
	7月に引き続いて受注量が少なく厳しい状況であった。	外衣・シャツ製造業 下関市
	予想通り、9月以降の受注量にかなりの差が出始めている模様である。工場が取り組んでいるアイテムによって、年内の受注を心配する工場、逆にキャパオーバーで納期を心配する工場と様々である。組合が窓口になり受注、生産の体制を構築し組合員企業の技術力の向上を図っていく等、工場の技術に付加価値を付けた営業が必要になって行くと思う。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	主要機械の故障により売上が減少した。	製材業・木製品製造業
印刷	7月同様8月も閑散期なので受注状況は芳しくない。これから需要期を迎えるので挽回に期待したい。	印刷 下関市

	印刷技術者が退職し、募集をかけるものが見つからない。	印刷 山口市
窯業・土石製品	8月の出荷量は、 (平成28年8月) 骨材106%、路盤材118%、再生材 84% ↓ (平成29年8月) 骨材 97%、路盤材 86%、再生材119%	砕石製造業
	出荷量は、前月比94%、前年同月比96%。地域によって出荷量の増減がある。特に岩国は基地関連工事の終了により減少し、北西部は長門俵山道路工事によりしばらく増加の状態が続く見通し。現時点のセメント・骨材等の資材調達で特に問題は生じておらず、生コン価格は安定している。	生コンクリート製造業
	梅雨明けの声を聞く前から気温の上昇が激しく、屋外に関わらず屋内作業でも暑さとの戦いとなっている。仕事の状況から従業員削減をしたのはいいが、この暑さで休憩をこまめにとるため仕事が捗らず、思った以上に苦戦している事業所が多い。今更ながらではあるが、身近で出来る環境問題への取り組みを見直す必要があるのではないだろうか。	石工品製造業
	萩市内の観光客数及び売上げは前年同月比で、先月同様、依然厳しい状況が続いている。しかし今年はお盆連休の並びが良かったせいか、11日～20日まで、途切れずにある程度の帰省客や観光客があったように思われ、市内ホテルの予約状況も同様と聞いている。組合が商品を提供している浅草のアンテナショップの8月の売上は、前年同月比で30%以上の減少と、先月同様、大きく下回っている状況。関東地方は悪天候・低い気温の影響で客足が伸びなかったとも思われる。しかし前倒しで湯呑や酒器・飯碗など秋向けの商品が動き出している。石川県金沢市で開催された「くらしの器とクラフトフェア金沢2017」(7月27日(木)～31日(月))に組合員1社が参加し、目標3万人を大きく下回る8千人の来場、売上も予定の4分の1と低迷した模様。金沢は今最も注目され活気のある地域で期待していただけに残念な結果となった。今年は例年11月に名古屋市で行われる「ドームやきものワールド」が延期となり、これから全国で開催される陶器フェアにもこれが影響するのではないかと危惧している。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	組合員各社とも好転しているが、先行きの見通しが立たず不安な気持ちを抱えている。海外プラント関係は中国の影響が強く、受注難。自動車関連の金型は好調。設備関連は暑さのため、工事が遅れ取り戻すのに時間がかかりそうである。雇用面は人手不足	一般機械器具製造業 防府市

	<p>で、特に熟練技術者不足である。</p> <p>機械検査、機械加工関係の受注状況は引き続き安定している。食肉加工、惣菜、自動車、造船関係は好調で残業も多く、パート、派遣も含め人材の確保が困難であり、外国人技能実習生受入の増員の相談が続いている。また、農業、養豚、建設資材、空港グランドハンドリング企業からも実習生受入の相談があり協議中で、介護の受入についても、中国、ベトナムへの調査を進め、受入の準備を進めており、人数枠の拡大、5年への延長についても要望がある。大企業でも人材不足が深刻になってきており、外国人技能実習制度の説明を求められることが増えてきた。今後、中小企業との人材の争奪が激しくなりそうである。</p> <p>7月と同様で推移している。売上高は微増している。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>
輸送機器	<p>鉄道車両部門は前年並みの好調さで生産高を維持しているが、ここに来て、精密加工部門と産業プラント部門の生産高が落ちてきている。両者とも年末まで低水準の状況が続くと心配される。</p>	<p>鉄道車両・同部品製造業</p>
卸売業	<p>8月に入っても“いりこ”の質が悪く価格も高いので買えない状況で在庫が前年同月比で82%と減少しており、他の荷物も動きが少ない。9月に期待したい。</p>	<p>乾物卸売業</p>
	<p>海水温が高く時化も多いため魚の入荷が少ない。“ふく”も高水温では餌をあまり食べないためもあって、質が良いとは言えない。この時期は商売にならず苦しい。</p>	<p>生鮮・魚介卸売業</p>
	<p>組合員企業の売上等は変わらない。</p>	<p>各種商品卸売業 防府市</p>
	<p>商品の多様化による包装資材が増加し、季節商品の格納場所に苦慮している。</p>	<p>各種商品卸売業 山口市</p>
小売業	<p>組合員の全体的な売上は前年と同程度であるが、仕入の増加で資金繰りが厳しいとの事。たとえば、資生堂はブランドが多く個店は多種在庫を抱えることとなり、メーカーの売上は伸びるが個店には負担となっているため、このやり方は許せない等グチが多く聞かれる。化粧品業界は大変だと改めて感じている。</p>	<p>化粧品小売業</p>
	<p>例年通り夏祭り開催され、途中、降雨にあうも無事大きなトラブルもなく終了した。</p>	<p>各種商品小売業 周南市</p>

	<p>晴れの日が多く、夏物製品（衣料品や清涼飲料など）の動きが良好。町内海水浴場の来場者も多く、出店業者の売上も好調である。また、広島東洋カープ由宇練習場でのウェスタンリーグ来場者も多く、出店業者の売上も好調。しかし商店街への来客は少なく小売業については従来通り厳しい状況が続いている。米軍艦載機の岩国基地への移駐が決定し、8月も引き続き建設業・設備業は米軍住宅や防音工事等で順調であり、レストランや食堂も週末家族ずれ客が多く繁盛している。</p>	<p>各種商品小売業 岩国市</p>
	<p>猛暑で来街者が減少したが、夏休みの帰省者の来店があったり等でお盆の間も少しは上向いた模様である。下旬になり売上が上昇している模様である。</p>	<p>各種商品小売業 山口市</p>
	<p>お盆前は、お盆の準備のためか客数も増え商店街で出しているポイントも伸びていたが、お盆に入ると、開けている店もあったが、年金の日でさえも客数がほとんどなかった。9月に期待したい。</p>	<p>各種商品小売業 下関市</p>
	<p>客数、売上とも前年を下回る厳しい状況。</p>	<p>各種商品小売業 長門市</p>
商店街	<p>猛暑が続いたので消費が引上げられ、売上は横ばいから多少増加した。中元商戦・夏物バーゲンも終盤、婦人服等秋物の入荷の時期となり、夏祭りも終わり秋商戦である。</p>	<p>山口市</p>
	<p>停滞ムードが続いている。</p>	<p>宇部市</p>
	<p>7月と同じ状況が続いており、各店舗とも物が売れないと言っている。政府は軍事の事も重要だが、もっと中小の下支えをしてほしいとの声が出ている。</p>	<p>萩市</p>
サービス業	<p>例年通り 8月は行事が多く盆前までは売上が良かったものの後半は客数が伸びなかった。猛暑、酷暑、残暑のせい、来店者のムラを感じる。</p>	<p>美容業</p>
	<p>組合員の減少・売上の減少・組合員の高齢化等、問題を真剣に考えないと今後の組合運営が厳しくなっています。</p>	<p>理容業</p>
	<p>山口県内における登録自動車の新車新規販売台数は、平成28年4月以降連続で対前年比プラスで好調に推移してきていたが、この7月に15ヶ月ぶりにマイナスに転落した。一方、軽自動車は、平成27年9月から23ヶ月マイナスで推移してきたが、本年4月以降はプラスに転じている。このような登録車と軽自動車の対照的な動きの要因は分かっていない。</p>	<p>自動車整備業</p>
	<p>人手不足から、人件費が上がって来ている。</p>	<p>スポーツ・健康教授業</p>

	<p>宿泊人員は対前年同月比で92%となり大幅な落ち込みとなった。昨年はインターハイの開催が8/10までであったが、今年はそれに代わるイベントが無く大きく減少した。売上は一般客の宿泊人員の落ち込みが無く販売価格が上昇しているため、ほぼ昨年並みに推移した。</p>	旅館業
	<p>夏休み、お盆の時期は単価アップしており、週末の天気が良かったこともあり概ね良好であった。人手不足で最低賃金がアップしている。労働条件の改定等を実施し求人してもなかなか人が集まらない。</p>	
	<p>人件費の負担減のため飲食売店部門の営業時間を短縮したことにより売上高の減少が続いている。天候不順と世相不安のため外出等を控えていると思われ、入浴者数の減少傾向が続いている。慣例による地域経費負担について見直しを迫られている。</p>	
	<p>夏休み等でアルバイト人員は毎年増える時期である。台風等の影響もさほど無く売上等は例年通り。他地域で雨天が続く野菜等の仕入れ値が上がって来ている。</p>	飲食業
	<p>連日の猛暑の影響もあり家庭で洗濯出来るものを着用する時期でもあるので客足は伸びず、例年以上に厳しい夏場となっている。新JISのウェット表示をしっかりと周知しクリーニング店にしかできない洗濯を売りにしていく必要がある。</p>	普通洗濯業
	<p>ツアー旅行等で必須であるバスの運転手不足である。</p>	旅行業
建設業	<p>7月の山口支部の中電への工事申請は202件。そのうち、太陽光発電の申請20件、オール電化申請53件。LED街路灯への切替・新設は0件であった。当月もNTT光ケーブルを家庭内配線の工事が127件あり。</p>	電気工事業
	<p>工事量は踊り場の状態であるが、ここ4年余りの好況に恵まれ対応に余裕がある。雇用人員は20数年前より大きく減少し、現在も漸減している。</p>	左官業
	<p>仕事量もあり順調に仕事をしている。しかし、誘導員（ガードマン）不足は解消せず、単価の高い岩国基地関連の業務に人手がとられている模様である。基地関連の業務も終盤と聞いており、今後の改善に期待をしている。熊毛地区の住宅団地の上水道整備が終了したため、旧徳山地区の発注が中心となり、競争が激しくなっている。土木関係も同様である。現在は、徳山駅前と周南市役所の大型工事が実施されているが、大型工事もこれでほぼ終了かとの声もあり、先が不安視される。燃料費は横ばいである。</p>	管工事業

	<p>盆明け以降、日中の暑さが多少和らぎ、現場の作業がやり易くなった。住宅着工数が少しずつ回復基調にあり、その恩恵に預かれると期待している。しかしながら、最近では金属屋根を使用する物件が増えており、瓦屋根の工事が相対的に減っているため手放しでは喜べない。</p> <p>これまで相次いで発生した地震の影響と思われる。</p>	屋根工事業
	<p>内装工事業は、7月以降の好調が引き続き、職人が足りない程の状態であった。職人不足が今後も続くことが予想される。現場の状況は各職種の労働者不足から工事が遅れ、後工程に響いている。新規物件の見積りも、いつ施工できるかが分からないため、とりあえずの見積りになっている。</p>	内装工事業
	<p>柳井地区は公共工事の発注が極端に少ない。民間工事は太陽光発電の工事がほぼ終了、大型物件は他県の業者が受注、小型の住宅地の造成工事を地元業者が受注する程度。民間の建築工事を地元業者が受注できても、安値で下請単価が非常に低い。後継者がおらず、工事量が無いので廃業する等、暗い話ばかりの負の連鎖の状況。</p>	土木工事業柳井市
	<p>8月の受注高は、対前年同月比74.2%。今年度の累計は対前年比57.7%。</p>	土木工事業 萩市
運輸業	<p>盆休みで本月の受注は対前年同月比で微減(▲0.3%)。中長距離ドライバー不足と高齢化は依然として解消しておらず、“働き方改革”による稼働時間数の削減は中小輸送業者に一層の圧迫感を与えており、現状に大いに苦慮している。燃料費は0.8円の値上げ。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>自動車関連受注先の盆休みが例年より長く、対前年同月比で若干程度のマイナス。保管庫関係は順調。燃料単価は低位に推移しているが、対前年同月比では10%程度上昇している。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>売上は増加したが経費も増加したため、利益は減少している。慢性的な人材不足状態である。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲5.0%（平成29年7月1日～平成29年8月20日分）。7月1日～31日分は▲2.2%、8月1日～20日分は▲10.1%。前年度の金額が前々年より微増（前年8月分+0.4%）だった事もあるが、タクシー需要は明らかに減少しており、個人消費の減退はすなわち景気減退の傾向にあるように思われる。当組合の取扱いは、光市，下松市，周南市，防府市の地域。7月分については、周南▲0.4%、下松+0.5%、光▲7.5%、防府市地区が▲10.8%で、組合員の全域では▲2.6%、地区外（員外）+4.6%で合計▲2.2%。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。CPが上昇した（前月377.5\$/トンが今月412.5\$/トン、前年300.0\$/トン）ため前月より+4.8%となりました。前年8月分に比べると+18.2%となっている。タクシー乗務員は慢性的に不足しており、高齢で退職する人員減少を採用で補いきれないため、稼働できない車両がある状況が続いている。5月の連休後と同じく、盆休みにお金を使い休み明けは財布の紐が堅くなるような気がするという話も聞いている。猛暑の影響も気になるところ。</p> <p>例年並みの取扱高であった。</p>	一般旅客自動車運送業
その他非製造業	全体的な状況に変化はない。需要は多いが供給の面で職員の質に多少問題を抱えている。	港湾運送業 介護事業